

京都看護助産学校



副学校長
増山 路子



助産師科 教育主事
佐藤 美春



看護師科 教育主事
釘宮 泰子



看護師科 教育主事
野々川 陽子
平成28年3月31日まで



看護師科 教育主事
小林 由里
平成28年4月1日から

I 看護学校の概要

1. 名称

独立行政法人 国立病院機構 京都医療センター附属京都看護助産学校

2. 所在地

〒612-8555 京都市伏見区深草向畑町1の1

TEL (075) 641-9191 (直通)

HP <http://www.hosp.go.jp/-kyotolan/>

3. 沿革

昭和24年4月1日 国立京都病院附属高等看護学院として開設
1学年定員30名 総定員90名

昭和43年4月1日 1学年定員50名 総定員150名

昭和44年4月1日 助産婦科の附設 1学年定員35名 総定員35名
国立京都病院附属高等看護助産学院に名称変更

昭和50年4月1日 国立京都病院附属看護助産学校に名称変更

昭和51年4月1日 専修学校(専門課程)に認定

平成16年4月1日 国立療養所宇多野病院附属看護学校(3年課程)と国立療養所南京都
病院附属看護学校(2年課程)と3校が統合、大型校となり独立行政
法人国立病院機構京都医療センター附属京都看護助産学校に名称変更

看護師科 1学年定員80名 総定員240名

助産師科 1学年定員35名 総定員35名

平成27年4月1日 助産師科 1学年定員25名 総定員25名 定員変更

卒業生数(平成27年3月31日現在)

看護師科(1回生～53回生)… 1,968名

(1回生～12回生)… 888名(統合後)

助産師科(1回生～47回生)… 1,375名

4. 課程・定員

課程	学科	入学定員	総定員	在籍者数（平成28年3月1日現在）			
				1年生	2年生	3年生	合計
看護専門課程	看護師科 (3年課程)	80人	240人	91人	84人	73人	248人
看護専門課程	助産師科	25人	25人	24人	/	/	24人
計		115人	275人	115人	84人	73人	272人

II 教育理念・目的

1. 教育理念

本校は、国立病院機構附属の養成所であり、国立病院機構の病院が担っている役割や機能を理解し、将来の国立病院機構の医療をリードしていく看護実践力をもつ看護師を育成することを責務としている。

人間愛を基盤とし、生命の尊厳と人権の尊重ができる感性豊かな人間性を育てることに主眼をおき、感じる心・考える力・主体的に行動する学生の育成を目指している。感じる心とは、人間に関心をもつことができ、生命の大切さや多様な価値観を感性豊かに感じとり物事の変化に気づくこと、考える力とは、状況の意味を自ら考え、専門的知識を活用して分析・判断する力のこと、主体的に行動するとは、感じ考えたことを自らすすんで表現し行動に繋げることができ責任がとれること、自己の目標達成に向けて卒業後も継続的に学習することを言う。

人間は、自己実現を目指し変化しようとしている存在であるが、現代の若者は生活体験が乏しいことから事象をイメージしにくく想像力・理解力が未熟な傾向にあるため、看護専門職として必要な基礎的知識、技術、態度を習得にあたり、体験的・実践的学習をとりいれわかりやすい授業を実践する。また、臨地実習での学びを充実させるために学びやすい環境づくりに力を入れる。さらに、医療・看護の動向をふまえ、保健医療福祉の変化に対応できる人材を育成する。

2. 教育目的

看護師若しくは助産師として必要な知識及び技術を教授し、独立行政法人国立病院機構及び社会に貢献し得る有能な人材を育成する。

3. 教育目標

1. 生命の尊厳と個々の人権を尊重できる感性豊かな人間性を養う
2. 看護の対象である人間を身体的・精神的・社会的に統合された存在として幅広く理解し、看護師としての人間関係を形成する能力を養う
3. 看護師としての責務を自覚し、倫理に基づいた看護を実践する
4. 科学的根拠に基づき、看護を計画的に実践する基礎的能力を養う
5. 健康の保持・増進、疾病の予防および健康の回復に関わる看護を、健康状態やその変化に応じて実践する基礎的能力を養う
6. 保健・医療・福祉システムにおける自らの役割および他職種の役割を理解し、他職種と連携・協働する基礎的能力を養う
7. 社会の動向に関心を持ち、常に主体的に看護を探究する姿勢と自己研鑽し続ける能力を養う

コンセプト

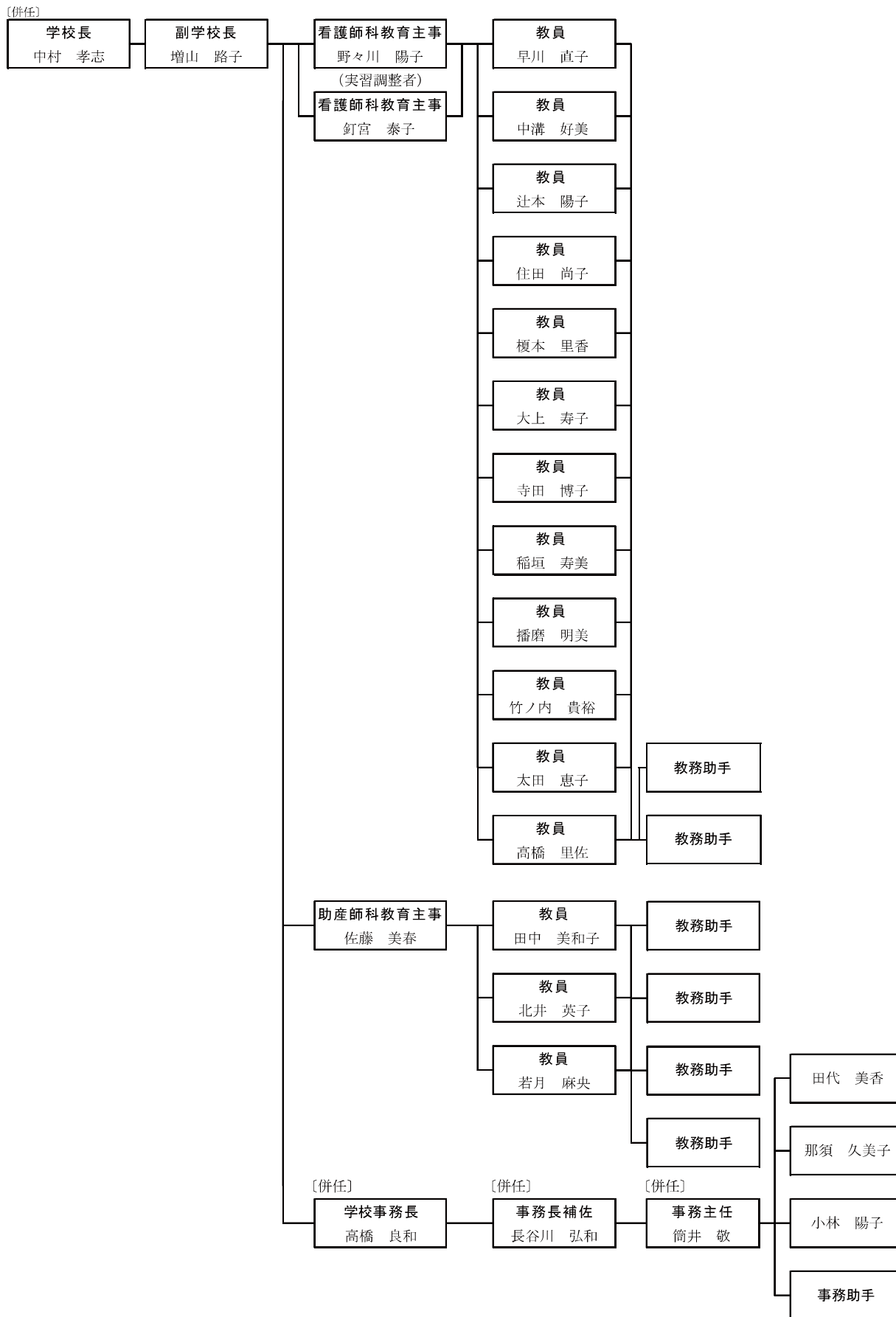
感じる心 考える力 そして・・・行動を

4. 平成27年度 部門(看護学校)目標

部門目標		重点目標
1	指導計画や授業実践の改善・充実につながる授業評価や研修の充実を図り、教員の指導力の向上に努める	自己の研究テーマを持ち、研究に取り組む。
		研修、学会等への参加により自己啓発を図る。
		専門領域の最新の知識・技術の吸収に努める。
		研究等の発表数の増加
		授業研究活動の活発化(授業力アップ)
		研修日の確保(月1日)
2	学校評価の充実と、学校の透明性を推進する	学生による授業評価から課題を明確にし、改善に取り組む。
		自己点検・自己評価及び第三者評価の実施と公表
		卒業時カリキュラム評価の目標平均値3.0以上
3	組織が円滑に機能するよう連携を密にし、職場風土の改善に努める	職員相互の啓発と親和・相互成長
		組織が円滑に機能するように関係者間で必要な情報の提供、共有
		チームとしての業務遂行(連携・調整の強化)
		新たな業務内容に対して自ら率先して取り組む姿勢がある。
		勤務時間管理の徹底と自己管理(自己コントロール)
4	国立病院機構に貢献できる優秀な人材の確保と育成。	効率的な広報活動(H P改訂、リアルタイムな情報提供)
		地域(地元高校)・看護協会等との積極的交流や連携強化
		臨床との連携による看護技術教育の充実
		国立病院機構への就職率看護師科70%以上、助産師科50%以上
		国家試験合格率が当該年度の国立病院機構全国平均以上
5	学生が自ら学び自ら問題を解決していく意志と態度や、つねに探求する姿勢を養う。 《感じ、考え、行動する》	少人数制の授業・演習形態やグループワークの活用
		「自分で創る学校生活」を意識させ、学生主体で企画・運営する機会を設ける
		学生フォーラム・「看護の日」活動・自治会活動・クラブ活動への支援
		ボランティア活動等の推奨
6	学生理解を土台にした相談活動の充実を図る	「学生相談室」及び「学生の声」の活用による支援(予防、早期対策)強化
		学生の気づき、問題、課題を認識し、学習効果があがるよう指導。
		看護師科、助産師科及び教員間での学生情報の共有
		きめ細やかな指導、タイムリーな指導、学生のペースに合わせた指導

III. 本学の組織

1. 組織図



2. 教育経験年数

	教員の種別	教育年数	専門領域
看護 師 科	副学校長（増山 路子）	17 年	
	教育主事（野々川 陽子）	11 年	基礎看護学
	教育主事（釘宮 泰子）	12 年	小児看護学
	教 員（早川 直子）	9 年	成人看護学
	教 員（中溝 好美）	7 年	老年看護学
	教 員（辻本 陽子）	助5年・看1年	母性看護学
	教 員（榎本 里香）	5 年	成人看護学
	教 員（住田 尚子）	5 年	小児看護学
	教 員（稲垣 寿美）	4 年	成人看護学
	教 員（大上 寿子）	4 年	基礎看護学
	教 員（寺田 博子）	4 年	成人看護学
	教 員（播磨 明子）	1 年	在宅看護論
	教 員（竹ノ内 貴裕）	1 年	精神看護学
	教 員（太田 恵子）	0 年	老年看護学
	教 員（高橋 里佐）	0 年	母性看護学
		教務助手（宮崎 千代子）	
助 産 師 科	教育主事（佐藤 美春）	助6年・看11年	助産学・母性看護学
	教 員（田中 美和子）	助6年・看1年	助産学
	教 員（北井 英子）	助3年	助産学
	教 員（若月 麻央）	助1年	助産学
	教務助手（中川 明子） （勢力 陽子） （太田 結子） （赤築 佳美） （置田 貴代）		

3. 職員・講師数

教職員に関する事項	教員の種別	専任	兼任		職員の種別	専任	兼任
			(看)	(助)			
	保健師	0名	0名	1名	事務職員	4名	3名
	助産師	6名	4名	10名	その他の職員	0名	0名
	看護師	12名	39名	1名	合計	4名	3名
	医師 (歯科医師含む)	0名	67名	14名			
	その他の教員	0名	40名	6名			
	合計	18名	150名	32名			

IV. 学生募集

1. 入学試験実施状況

<看護師科>

	一次試験	二次試験	合格発表
一般入学試験	平成28年 1月21日(木)	平成28年 1月23日(土)	平成28年 1月28日(木)
社会人入学試験	平成27年11月12日(木)	平成27年11月14日(土)	平成27年11月19日(木)
推薦入学試験	平成27年11月14日(土)		平成27年11月19日(木)

<助産師科>

	一次試験	二次試験	合格発表
一般入学試験	平成28年 1月21日(木)	平成28年 1月23日(土)	平成28年 1月28日(木)
特別選抜入学試験	平成27年11月12日(木)		平成27年11月19日(木)

2. 入学状況

<看護師科>

年度 (回生)	試験	応募者数	受験者数	合格者数	入学者数	退学者数	卒業者数
平成 24年 (第11回生)	社会人	108	100	46			
	一般	134	130	59			
	合計	242	230	105	78	5	73
平成 25年 (第12回生)	推薦	8	8	8			
	社会人	89	83	38			
	一般	158	149	61			
	合計	255	240	107	78	5	66
平成 26年 (第13回生)	推薦	9	9	9			
	社会人	82	76	33			
	一般	171	164	72			
合計	262	249	114	82	1		
平成 27年 (第14回生) 在学中	推薦	12	12	12	12		
	社会人	62	60	30	30		
	一般	110	99	65	49		
	合計	184	171	107	91		
平成 28年 (第15回生) 在学中	推薦	16	16	16	16		
	社会人	23	22	10	10		
	一般	69	69	56	44		
	合計	108	107	82	70		
合計		1,051	997	515	399	11	142
平均		210	199	103	80	4	

<助産師科>

年度 (回生)	試験	応募 者数	受験 者数	合格 者数	入学 者数	退学 者数	卒業 者数
平成 26 年 (第 46 回生)	特別選抜 (学校)	10	10	10	10		10
	特別選抜 (施設)	0	0	0	0		0
	一般	69	62	18	18	3	15
	合計	79	72	28	28	3	25
平成 27 年 (第 47 回生)	特別選抜 (学校)	13	13	13	13	1	12
	特別選抜 (施設)	1	1	1	1		1
	一般	65	57	12	11		10
	合計	79	71	26	25	1	23
平成 28 年 (第 48 回生) 在学中	特別選抜 (学校)	8	8	8	8		
	特別選抜 (施設)	3	3	3	3		
	一般	73	63	19	13		
	合計	84	74	30	24		
平均		86	77	30	27	2	20

3. オープンキャンパス・公開講座の実施

<看護師科>

	日 程	テーマ	参加者数
1	平成 27 年 6 月 6 日 (土)	ホームカミングデイ:「ツボでリフレッシュ!」	34 人
2	平成 27 年 7 月 25 日 (土)	学校概要の説明、校舎内見学内 看護学生体験:車椅子移送、血圧測定など	48 人
3	平成 27 年 7 月 27 日 (月)		23 人
4	平成 27 年 8 月 1 日 (土)		56 人
5	平成 27 年 8 月 16 日 (日)		78 人
6	平成 27 年 9 月 12 日 (土)		29 人
7	平成 27 年 10 月 24 日 (土)	公開講座 「Let's 認知症予防!」	35 人
		合計	303 人

<助産師科>

	日 程	テーマ	参加者数
1	平成 27 年 9 月 19 日 (土)	性教育講座	9 人
2	平成 27 年 10 月 10 日 (土)	ファミリー教室	14 人
3	平成 27 年 7 月 18 日 (土)	助産学生体験:モデル人形による分娩介助体験	41 人
4	平成 27 年 8 月 22 日 (土)	助産学生体験:モデル人形による分娩介助体験	94 人
5	平成 27 年 9 月 5 日 (土)	助産学生体験:モデル人形による分娩介助体験	39 人
		合計	197 人

V. 学生生活

1. 心身の健康保持・増進

1) カウンセリング

カウンセラーによるカウンセリングを週1回(放課後)に実施している。

2) 健康診断

健康管理規定に基づき、定期的を実施している。

項目	対象	4月	7月	10月	1月
1. 身体測定	全学生	○	○	○	○
2. 胸部X線撮影	全学生	○			
3. 血圧測定	全学生	○		○	
4. 検尿 (糖、蛋白、潜血、ウビリノーゲン)	全学生	○		○	
5. 内科総合診断	全学生	○		○	
6. 採血 (梅毒反応、HB、HCV、麻疹、風疹 水痘、ムンプス抗体検査)	新入生	○			
7. ツベルクリン反応検査	新入生(2,3年生 の陰性者)	○			
* 検便は実習前に実施					

2. 課外活動 : 看護師科

1) 自治会活動

	< 前期 >		< 後期 >
5月	自治会総会	11月	自治会総会
6月		12月	大掃除 クリスマスコンサート
7月	大掃除 サマーコンサート	1月	
8月		2月	国家試験激励会、予餞会
9月		3月	
10月	戴帽式のお祝い 自治会総括 後期自治会選挙 近畿看護学会(2年生)	4月	新入生歓迎会 自治会総括 前期自治会選挙

2) クラブ活動

(1) バレーボール部

毎週 火・水・木・金 曜日 16:30～18:00 体育館

あじさい杯 平成27年7月18日(土) 開催

* 京都看護助産学校主催で近畿ブロック附属看護学校5校のバレーボール部が集まる大会。
毎年開催している。

(2) 茶道部

隔週 木 曜日 16:30～18:30 在宅看護実習室

七夕茶会 平成27年7月24日(金) 開催

初釜茶会 平成28年2月 4日(木) 開催

(3) 園芸部

不定期開催

患者さんたちに季節の花を見てもらえるよう、草花を植えて手入れをしている。

(4) 合唱サークル

不定期開催

みんなで楽しむとともに、病院コンサートや実習でのレクリエーションで患者さんに喜んでもらえるよう、練習している。

3) ボランティア活動

	実施時期	学年	実施内容
1	平成 27年 5月 12日	学生全員	看護の日記念行事コンサート・カードの配布(京都医療センター)
2	平成 27年 7月 22日	1年生	サマーコンサート(京都医療センター)
3	平成 27年 12月 21日	1年生	クリスマスコンサート(京都医療センター)
4	平成 28年 3月 2日	3年生	病院清掃ボランティア(京都医療センター)

VI. 卒業生の進路

1. 就職・進学状況

<看護師科>

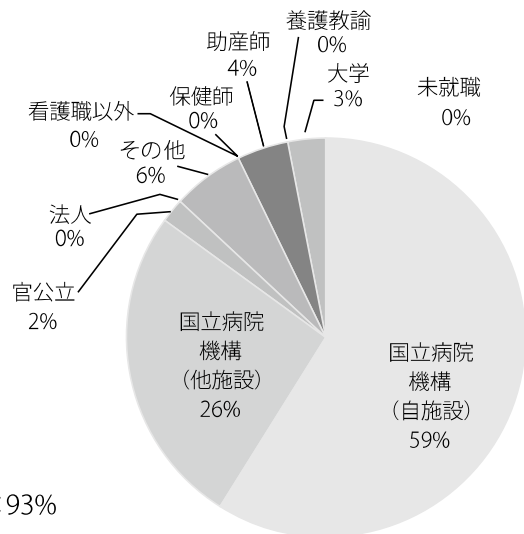
年月	回生	卒業 者数 (人)	就 職 (人)						進学 (人)				未 就 職
			国立病院機構		官 公 立	法 人	そ の 他	看護職 以外	保 健 師	助 産 師	養 護 教 諭	大 学	
			自施設	他施設									
平成 25 年 3 月	第 10 回生	80	32	28	3	3	0	0	0	9	0	5	0
平成 26 年 3 月	第 11 回生	70	36	24	3	1	0	0	0	4	0	2	0
平成 27 年 3 月	第 12 回生	69	41	18	1	0	4	0	0	3	0	2	0

<助産師科>

年月	回生	卒業 者数 (人)	就 職 (人)						進 学	未 就 職
			国立病院機構		官 公 立	法 人	そ の 他	看護職 以外		
			自施設	他施設						
平成 25 年 3 月	第 45 回生	24	6	10	6	2	0	0	0	
平成 26 年 3 月	第 46 回生	25	4	10	8	3	0	0	0	
平成 27 年 3 月	第 47 回生	25	4	9	7	2	0	0	1	

平成28年3月 進路状況

<看護師科 第12回生>

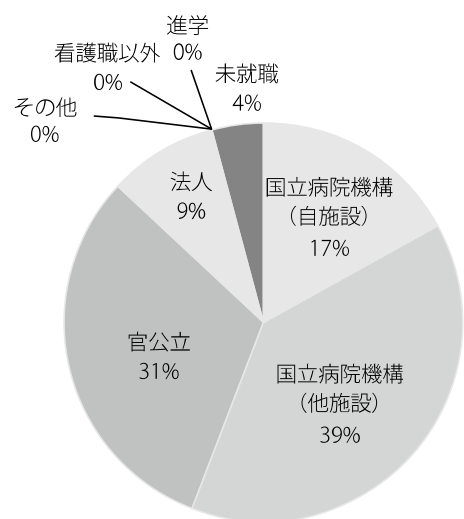


就職:93%

進学:7%

就職者の中の機構就職率:85%

<助産師科 第47回生>



就職:96%

就職者の中の機構就職率:56%

2. 国家試験

<看護師科>

		全国 (%)	機構附属 (%)		
			全国	近畿	京都
104回 (H27.3)	全体 (新卒)	90.0 (94.1)	98.6 (99.0)	99.7	100
105回 (H28.3)	全体 (新卒)	89.4 (94.9)	98.0 (98.4)	99.4	100

<助産師科>

		全国 (%)	機構附属 (%)	
			全国	京都
98回 (H27.3)	全体 (新卒)	99.9 (99.9)	100	100
99回 (H28.3)	全体 (新卒)	99.8 (99.8)	100	100

VII. 教員の研究および研修参加

1. 研究活動

<学会発表>

日程	学会名	テーマ	研究者(○発表)
平成27年 8月19日	日本看護学教育学会	看護教育におけるグループ学習・協同学習に関する文献研究	○釘宮泰子 (ポスター)
平成27年 11月28日	国立病院 看護研究学会	実習指導者研修修了1年経過後の実習指導への取り組みと意識の変化に関する調査	○佐藤美春、山本薫里、 池田宏子、 清家百合枝(ポスター)
平成28年 12月9日	日本看護協会 愛知県看護研究学会	看護教員の実務研修・学校間研修の取り組みと実態	○野々川陽子、村井紀子 岩井幸子

<教員研修会 研究グループ>

	テーマ	教員
1G	授業研究におけるリフレクション能力の向上	榎本 里香、住田 尚子
2G	学生が主体的に取り組めるための看護技術指導方法の検討	大上 寿子、高橋 里佐、若月 麻央
3G	看護教員が教える「人体の構造と機能」の評価	他校教員
4G	看護学生の学習に対する主体性の実態	他校教員
5G	看護学生への症状アセスメント・症状緩和に向けての援助抽出における思考過程の育成	他校教員
6G	看助教員による教育支援～母性領域における取り組み～	田中 美和子、辻本 陽子、稲垣 寿美
7G	公開授業参加後の看護師の学生指導に対する意識の調査	他校教員
8G	周手術期看護演習の実施と評価	早川 直子、北井 英子
9G	老年看護学演習の検討～老年期の対象理解を深める演習指導案の評価～	中溝 好美、播磨 明美、太田 恵子
10G	基礎看護技術の演習指導案作成(採血)	竹ノ内貴裕、寺田 博子

<授業研究>

日程	授業内容	教員
平成27年10月30日(金)	授業見学:大阪医療センター附属看護学校 診療援助技術Ⅱ:与薬・ME(中村美保 実施)	榎本 里香 住田 尚子
平成27年12月11日(金)	公開授業 看護の統合と実践Ⅳ:統合技術演習	早川 直子
平成27年12月14日(月)	公開授業 成人看護援助技術Ⅰ:急性期患者の看護	榎本 里香
平成27年12月21日(月)	公開授業 老年看護援助技術 高齢者の健康障害の特徴と看護	播磨 明美
平成28年 2月25日(木)	授業見学:大阪南医療センター附属大阪南看護学校 周手術期看護演習 (田村照子 実施)	早川 直子 北井 英子

2. 研修参加状況

日程	主催	研修内容	参加人数
平成27年7月30日	副学校長・教育主事・教員 夏期合同研修会	1. 講演:「自己の感情をコントロールした学生指導」 2. 国立病院機構の動き「非公務員化について」「勤務時間・休暇制度」など	20人
平成27年5月1日	近畿グループ	1・2年目教員研修 講義「1・2年目看護教員に期待すること」 講義「教育経験から新人教員に伝えたいこと」	5人
平成27年7月31日	近畿グループ	3年目以上教員研修 講義「学生の能力評価と授業評価の方法」	14人
平成27年9月18日	近畿グループ	1・2年目教員研修 講義「自分のねがいを大切にしたい授業デザイン～看護の学びを支えるために～」	5人
平成28年2月15日	国立病院機構 九州医療センター附属福岡 看護助産学校 助産師科	国立病院機構 助産学校教員研修会: 分娩期実習の指導方法・実習記録の検討、卒業時の到達状況など	2人
平成27年12月24日	一般財団法人 日本助産評価機構	助産実践能力習熟段階(クリニカルラダー)レベルⅢ認証研修修了・認定証修得	北井英子 田中美和子 若月麻央 高橋里佐

VIII. 社会への貢献

<公開講座>

日 程	テーマ	参加者数
平成27年 6月 6日(土)	ホームカミングデイ「ツボでリフレッシュ!」～自分を癒す技を身につけよう～	34人
平成27年 7月25日(土)	看護学生体験:車椅子移送、血圧測定など	48人
平成27年 7月27日(月)	看護学生体験:車椅子移送、血圧測定など	23人
平成27年 8月 1日(土)	看護学生体験:車椅子移送、血圧測定など	56人
平成27年 8月16日(日)	看護学生体験:車椅子移送、血圧測定など	78人
平成27年 9月12日(土)	看護学生体験:車椅子移送、血圧測定など	29人
平成27年10月24日(土)	公開講座:～いきいきとした生活を～ Let's 認知症予防!	35人
平成27年 9月19日(土)	性教育講座を「私がここにいるキセキ ～ありのままのわたし、ありのままのあなた～」	9人
平成27年10月10日(土)	ファミリー教室「はぐくもう いのちの わ」～ようこそわが家へ～	14人
平成27年 7月18日(土)	助産学生体験:モデル人形による分娩介助体験	41人
平成27年 8月22日(土)	助産学生体験:モデル人形による分娩介助体験	94人
平成27年 9月 5日(土)	助産学生体験:モデル人形による分娩介助体験	39人
	合計	477人

<ガイダンス>

月	日	曜	内容	場所	出席者	実績数
4	14	火	学校ガイダンス(京都精華女子)	みやこめっせ	増山 路子	2
	25	土	進学相談会(さんぽう)	きらっ都プラザ	増山 路子	4
	29	水	就職・就学フェア(京都府看護協会)	みやこめっせ	増山 路子 野々川 陽子 釘宮 泰子	24
5	8	金	進学相談会(さんぽう 府立乙訓)	きらっ都プラザ	増山 路子	10
	28	木	高校内ガイダンス(1年職業人講話)	府立城南菱創高校	増山 路子	19
6	2	火	進路相談会(3年 昭栄広報)	府立桃山高校	増山 路子	11
	14	日	医歯薬・看護・医療・福祉・医療事務系 会場形式進学相談会	梅田スカイビル タワーウエスト	釘宮 泰子	9
7	15	水	進学相談会(昭栄広報 府立北嵯峨)	みやこめっせ	増山 路子	10
12	2	金	高等学校教員との情報交換会	京都テルサ	増山 路子 大上 寿子	4
	15	火	進学相談会	マリア-ジ ョ ヲンテ	増山 路子	6

<教員の講習会、研修等の講師>

日程	研修内容	教員
平成27年 6月～7月	近畿グループ 平成27年度保健師助産師看護師 実習指導者講習会 講義講師	増山 路子(3回) 野々川 陽子(3回) 釘宮 泰子(1回) 佐藤 美春(1回)
	近畿グループ 平成27年度保健師助産師看護師 実習指導者講習会 演習指導案助言講師	榎本 里香
平成27年 6月24日 7月15日 7月22日	京都医療センター附属 京都看護助産学校 実習指導者研修プログラム (第1回～第3回)	三井 佐代子 増山 路子 野々川 陽子 釘宮 泰子 中溝 好美 辻本 陽子 寺田 博子 播磨 明美 稲垣 寿美 高橋 里佐
平成27年 8月28日	敦賀医療センター 講演会演者「チーム活動を円滑に進めるためのファシリテーションスキル」	増山 路子
平成27年 9月19日	日本看護学会 精神看護 学術集会 座長	増山 路子
平成27年10月 3日	国立病院総合医学会学術集会	住田 尚子
平成28年 2月20日	第30回日本助産学会学術集会 座長	佐藤 美春
平成27年度	京都母性衛生学会 理事	佐藤 美春
	京都母性衛生学会 会計副委員長	田中 美和子

<中堅教員研修>

日程	研修内容	担当講師	参加者
平成27年 8月 31日	カリキュラム構築についての講義 「モデル教育課程クリティーク」	増山 路子 野々川 陽子	早川 直子 中溝 好美 榎本 里香
平成28年 1月 6日	自校の教育課程評価		

<研修受け入れ>

日程	研修内容		受け入れ数
平成28年2月3日 ～2月12日	教員 インターンシップ	近畿グループ副学校長 教育主事協議会主催	1人
平成28年2月 16日・17日	教員 インターンシップ	近畿グループ副学校長 教育主事協議会主催	3人

<実務研修>

日程	研修内容		教員
平成27年10月22日	看護師科 教員	京都医療センター 小児科外来・病児保育	住田 尚子
平成27年11月18日	看護師科 教員	東近江総合医療センター 小児科	高橋 里佐
平成27年11月11日	助産師科 教員	東近江総合医療センター 産科	北井 英子

<新人教員研修>

日程	研修内容	教員
平成27年 9月 4日	講義「单元：診療補助技術（薬物療法）」参観・ リフレクション	釘宮 泰子 寺田 博子 太田 恵子 高橋 里佐
平成27年11月26日	演習「单元：診療補助技術（薬物療法）」 参観・リフレクション	釘宮 泰子 太田 恵子 高橋 里佐

IX. 施設と設備

1. 建物の概要

	区 分	建築年数	構造・階	面積 (㎡)	摘 要
看護師科	校 舎	平成16年	RC4階	延: 3037㎡ 建: 1002㎡	
助産師科	校 舎	昭和54年	RC2階	延: 850㎡ 建: 469㎡	
	寄宿舍		RC5階	延: 540㎡ 建: 111㎡	
共通	図書棟	平成16年	RC2階	延: 704㎡ 建: 421㎡	
	体育館	平成3年	RC2階	延: 664㎡ 建: 600㎡	

2. 図書・ビデオ保有数

<図書>

(平成28年3月31日現在)

	基礎科目	専門基礎科目	専門分野	その他	雑誌	合計
看護師科	3,436	2,586	9,511	37	20種	15,570
助産師科	594	943	2,039	8	20種	3,584

<ビデオ>

(平成28年3月31日現在)

	基礎科目	専門基礎科目	専門分野	その他	合 計
看護師科	28	139	778	0	945
助産師科	0	74	231	0	305

X. 会議一覧

月	平成 27 年度 開催状況
4 月	運営会議・講師会議 実習指導者会議・実習指導者役員会 教員会議(5回/月)
5 月	実習指導者会議・実習指導者役員会 教員会議(3回/月)
6 月	運営会議 実習指導者会議・実習指導者役員会 教員会議(4回/月)
7 月	実習指導者会議・実習指導者役員会 教員会議(4回/月)
8 月	教員会議(7回/月)
9 月	実習指導者会議・実習指導者役員会 教員会議(4回/月)
10 月	実習指導者会議・実習指導者役員会 教員会議(4回/月)
11 月	運営会議 実習指導者会議・実習指導者役員会 教員会議(4回/月) 入試委員会(社会人入試・特別選抜入試) 一次試験合否判定会議・二次試験合否判定会議
12 月	実習指導者会議・実習指導者役員会 教員会議(4回/月)
1 月	運営会議 教員会議(4回/月) 入試委員会(一般入試) 一次試験合否判定会議・二次試験合否判定会議
2 月	運営会議・講師会議 実習指導者会議・実習指導者役員会 教員会議(4回/月)
3 月	運営会議・講師会議 実習指導者会議・実習指導者役員会 教員会議(5回/月)

学校評価

学校評価(第三者評価)の実施

当校では、教育活動の質の向上をはかり、地域社会及び学生から寄せられる期待に応えるために、平成19年から自己点検・自己評価を実施しています。評価表は27年度に見直しを行い、13領域、110項目について、より客観性のあるフィードバックが得られるように改訂しました。平成27年度は大学、看護専門学校からの外部者2名の評価者を招いて第三者評価を実施し、更なる教育の充実を目指しています。

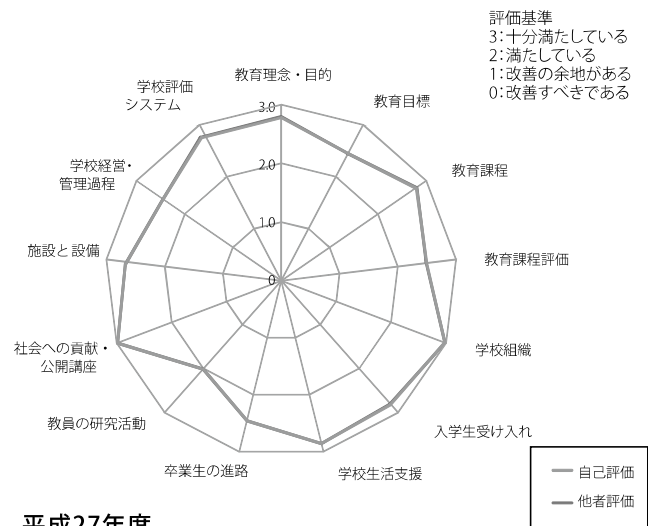
学校評価総評結果と改善への取り組み

すべての評価項目について、「2:満たしている」以上の評価を得ることができました。この中で更に改善・向上への取り組みを必要とする内容は、次の4点です。評価者からは、「一人一人の教員が、学生に対して丁寧で、手厚い教育をしている」という評価を得ました。今後、改善点を早急に見直し、更に教育の充実がはかれるように取り組んでいきます。

1. 教育理念である当校独自の「感じる心、考える力、行動する」学生の育成を目指すという内容について、学生に周知して、ディプロマポリシーに反映できるようにすること。
2. 学生便覧、シラバスを、学生にとって活用しやすいものにしていくこと。
3. 学生と関わる時間を持つために、人員配置や時間運用の効率化を図っていくこと。
4. 教員が自己研鑽し、積極的に研究に取り組める環境を整え、業績成果を示していくこと。

<看護師科>

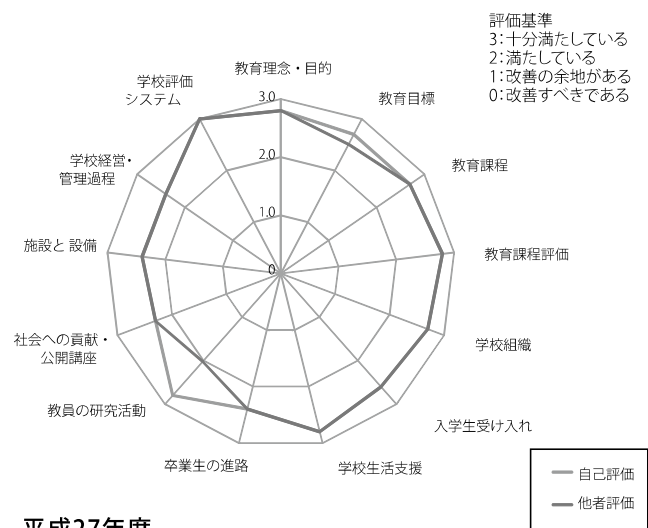
	評価項目	項目	自己評価	他者評価
I	教育理念・目的	6項目	2.8	2.8
II	教育目標	6項目	2.5	2.5
III	教育課程	26項目	2.8	2.8
IV	教育課程評価	6項目	2.5	2.5
V	学校組織	9項目	3.0	3.0
VI	入学生の受け入れ	5項目	2.6	2.6
VII	学校生活支援	15項目	2.9	2.9
VIII	卒業生の進路	7項目	2.5	2.5
IX	教員の研究活動	4項目	2.0	2.0
X	社会への貢献・公開講座	7項目	3.0	3.0
XI	施設と設備	7項目	2.1	2.1
XII	学校経営・管理過程	7項目	2.3	2.3
XIII	学校評価システム	5項目	2.4	2.4



平成27年度
看護師養成所自己点検・自己評価結果(看護師科)

<助産師科>

	評価項目	項目	自己評価	他者評価
I	教育理念・目的	6項目	2.8	2.8
II	教育目標	6項目	2.7	2.5
III	教育課程	26項目	2.7	2.7
IV	教育課程評価	6項目	2.7	2.7
V	学校組織	9項目	3.0	3.0
VI	入学生の受入れ	5項目	2.6	2.6
VII	学校生活支援	15項目	2.9	2.9
VIII	卒業生の進路	7項目	2.5	2.5
IX	教員の研究活動	4項目	2.5	2.0
X	社会への貢献・公開講座	7項目	3.0	3.0
XI	施設と設備	7項目	2.6	2.6
XII	学校経営・管理過程	7項目	2.3	2.3
XIII	学校評価システム	5項目	2.4	2.4



平成27年度
助産師養成所自己点検・自己評価結果(助産師科)